



7月16日、ロンドン「福島庭園」開園3周年式典

在英県人会ロンドン
しゃくなげ会長

満山喜郎さん(白河市出身)
(大信出身)に聞く

英国との関係 強める機会に



福島庭園の開園3周年記念式典の意義などを語る満山会長

在英県人会ロンドンしゃくなげ会の満山喜郎会長(大信出身)は十八日、白河市大信出身の十八日、福島民報社のインタビューに応じ、七月十六日に英国・ロンドンの「福島庭園」で行う開園三周年記念式典について「震災や原発事故からの本格的な復興に向け、福島と英国の関係を強める機会にした」と語った。

「福島庭園はどのような役割を果たしているか。」

「週末は常にくさんの人が訪れている。復興には『忘れない』ということが欠かせず、福島に思いを寄せてもらう重要な場所となっている。」

「三周年記念式典の意義は。」

公園の充実にも期待

「内堀雅雄知事にも出席してもらい、福島庭園を管理する地元自治体などとの結び付きを強めることで、福島への理解が深まる。公園のさらなる充実にもつながると期待している。」

「ワールド県人会長として、復興に向け海外県人会の結束をどう強めていくのか。」

「十八カ国、二十九の県人会は古里再生の大きな力になる。情報を共有して連携を深め、海外に住む私たちだからこその取り組みを進めたい。」

◇ ◇

満山会長は十八日、福島民報社を訪れ、渡部世二会長、高橋雅行社長と懇談した。